

区医だより

発行●浪速区医師会 編集●広報部

巻 頭 言

汗についてこの頃思うこと

金子良恵

(桜川よしえクリニック 院長)

平成28年3月31日木曜日のことです。いつもの休診日のようにのんびりと過ごし、夕方月末のカルテ整理をするため、クリニックにつきました。電子カルテのスイッチを入れ、FAXの用紙をチェックし、明日往診の老人ホームからの患者リスト、広告、「あれっ。浪速区医師会？」

『いつもお世話になっております。ご依頼しておりました『区医だより4月号』の巻頭言のご執筆はお進みでしょうか。執筆了解のお返事を頂いておらず、本日3月末日が原稿の締め切りであるため、ご連絡致しました。』

「えっ。何のこと。いつもなら、原稿依頼の電話もあるし、何かの間違いでは。でも、念のため、電話してみよう。」

とすぐに、電話をしました。事務長さんから、一言、

「月初めの配送物に原稿依頼の封筒が入っていたと思いますが？ ご覧になりませんでしたか？ 他の先生に依頼出来ないのです、あと1週間で、原稿をお願いします。」

小学生の頃から、作文が苦手の私にとっては、一大事です。背中・ワキから、冷汗がどっと出てきました。電話をきって、郵便物をさがすと、ありました。『区医便り4月号執筆依頼』と書かれた封筒が見つかりました。

冷や汗が出たところで、今回は、汗について考えてみました。桜も満開となり、女性にとって、そろそろワキの汗シミが気になる季節となってききましたので、原発性腋窩多汗症について少し思うことを書かせて頂きます。

この疾患は、他の原因（疾患、内服中の薬剤など）による続発性ではなく、明らかな原因が存在しない多汗症で、日常生活の支障となるほど多くの汗が思春期よりはじまり、半年以上続く疾患です。日本人の頻度は、5.8%程度と推定されています。診断基準を満たし、重症度3、4度で、発汗がほとんど我慢出来ず、日常生活に頻繁または常に支障がある場合に、ボツリヌス療法（ボトックスの局所注射）の適応になります。ボツリヌス療法とは、ボツリヌス菌がつくる天然のタンパク質から精製された薬を注射し、交感神経から汗腺への刺激の伝達をブロックし、発汗を抑えていきます。効果は、注射後2、3日～2週間で現れ、4～9ヶ月持続します。注射は、保険適用となっているボトックス100単位1ボトルを4mlの生食で溶解し、片側の腋窩に20から25カ所皮下注射していきます。薬剤は、2012年11月からこの疾患で保険適用されていましたが、今までは、局所注射の扱いだったので、両側に何カ所注射しても18点でした。薬剤の価格が高く、注射する時間も、1人の



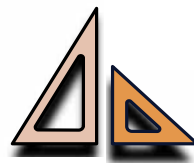
注射に20～30分かかります。更に、注射時痛みがあるので、患者さんが麻酔を希望されると、腋窩にリドカイン・プロピトカイン合剤のエムラクリームを塗布して30分から1時間置いて麻酔していました。当然手間の割に、点数が取れないので、施術している皮膚科は、少なかったようです。

ようやく今度の診療報酬改定で、注射片側につき200点が新設されました。両側で400点です。しかし、ボトックスの他の適応疾患である片側顔面痙攣、痙性斜頸、上肢・下肢の攣縮での局所注射は、はじめから、神経ブロック400点が算定できていました。今回、やっと他の神経ブロックと同じ点数で皮膚科も算定が出来る様になりました。患者さんがインターネットを使って色々調べて保険で、安く治療を希望されてこられます。美容外科では、自費で10～20万で注射が行われていましたが、保険適用では、今までは3割負担で26,000円前後、今回少し上がっても28,000円前後です。

しかし、薬剤がとても高く1瓶で87,536円です。10人注射を希望されると、薬剤の仕入れだけで消費税がかかると90数万円です。もう少し薬剤が安くなれば、本当に患者さんの為になると思うのですが？同じボトックス製品で、ボトックスビスタ50単位があります。中身は、一緒ですが、こちらは、65歳未満の眉間のしわに対して自費のみに使いますが、価格は、2万円前後です。これを2本使えば、半分の値段で済むのですが、保険適用のない薬剤ですので、治療に使えません。とても不思議に思いながら50単位、100単位ビンをそれぞれ使用しております。



理事会報告



◎平成 27 年度 3 月定例理事会

日 時 平成 28 年 3 月 25 日〈金〉

午後 8 時～ 10 時

場 所 浪速区医師会 会議室

協議事項

1. 難波特別支援学校となにわ高等特別支援学校の学校医・産業医について

＜澤井副会長＞

4 月から標記学校の管轄が市立から府立へと移管され、各校に配置していた校医を統合することと報酬を変更する旨の通達があった。これに伴い、各校医の 4 月以降の継続就任について意向を確認していたが、継続が困難であるとの回答が多かった。本会としての意向を早急に決めたい。

協議の結果、市立から府立へ移管することに伴い、条件が大幅に改定されないよう対応することを府教育委員会へ書面にして回答するよう要請することとした。

2. 28 年度予算・事業計画について

＜木田理事＞

資料に沿って検討、予算の一部を修正することとなった。

また、事業計画の前文は澤井副会長、事業計画内容については了承。

3. 決算委員会の日程について＜木田理事＞

次の日程に決定した。

日時 4 月 11 日〈月〉 午後 7 時 30 分

場所 浪速区医師会

4. 職員の定期昇給について <木田理事>
例年とおりに決定。

5. 28年度の理事会開催予定日について
<中村理事>
資料のとおりに決定。

6. 28年度からの区医だよりのあとがきにつ
いて <山田理事>
工藤議長より辞退したいとの申し出が
あった。
28年5月号が最終となる。

協議の結果、4名（山田理事・中村理
事・竹中監事・藤吉医師）であとがき
担当を続けることとなった。

7. その他
なし。

報告事項

1. 郡市区等医師会長協議会について
（3月25日〈金〉） <佐久間会長>
次第は次のとおり。

▷開会

▷会長挨拶

▷連絡事項

(1) 大阪府医師会生涯研修システム一部改
正の件

(2) 4月度行事・会合日程および平成28
年度主要行事・会合日程の件

▷協議

▷閉会

（詳細 略）

2. 大阪市医師会連合会委員会について
（3月14日〈月〉） <佐久間会長>
次第は次のとおり。

▷協議事項

(1) 平成27年度人権研修会開催の件

(2) 第31回評議員会（5月16日）への提
出議題の件

▷連絡事項

- (1) 平成28年度大阪市予防接種委託料の件
- (2) 平成28年度大阪市結核対策事業の件
- (3) 平成28年度大阪市妊婦健康診査公費
負担額の件
- (4) 平成28年度大阪市公衆衛生活動事業
補助金の件
- (5) 平成28年度大阪市がん検診等委託料の件
- (6) 平成28年度介護予防健診・事業参加
健診終了の件

▷報告事項

- (1) 大阪市社会福祉審議会高齢者福祉専門
分科会保健福祉部会（2月10日）報
告の件
- (2) 大阪市社会福祉審議会高齢者福祉専門
分科会介護保険部会（2月17日）報
告の件
- (3) 大阪市障がい者施策推進協議会障がい
者計画策定・推進部会（2月8日）報
告の件
- (4) 大阪市地域自立支援協議会（大阪市障
がい者施策推進協議会地域自立支援協
議会）（2月19日）報告の件

▷会議日程

(1) 4月 正・副会長会 4月18日（月）
午後2時

(2) 4月 委員会 4月18日（月）
午後2時30分

（詳細 略）

3. 第305回府医臨時代議員会（予算）について
（3月24日〈木〉） <佐久間会長>
議事は執行部原案どおり可決決定した。

▷第1号議案

平成27年度大阪府医師会会費減免申
請に関し承認を求める件

（詳細 略）

4. 郡市区等医師会社会保険担当理事連絡協
議会（改定点数説明会）について
（3月15日〈火〉） <徳田副会長>
次第は次のとおり。

▷開会

▷挨拶

- ▷配布資料確認
▷改定点数の説明
(1) 改定の概要と診療所関係を中心に
(2) 病院関係を中心に
▷改定に伴う施設基準の届出等の説明
▷その他連絡事項等
▷閉会
(詳細 略)
5. 災害時における連携に関する打合せ会について
(3月16日<水>) <橋村理事>
次第は次のとおり。
▷前回打合せ以降のそれぞれの取組みについて
▷その他
(詳細 略)
6. 浪速区在宅医療・介護連携推進会議について
(3月16日<水>) <橋村理事>
▷平成28年度の取り組みについて
(1) 地域の医療・介護の資源の把握について
(2) 在宅医療・介護連携の課題抽出と対応策の検討
(3) 医療・介護関係者の研修
(4) 地域住民への普及啓発
(5) 医療・介護関係者の情報共有の支援
▷その他
(詳細 略)
7. 学術講演会について
(2月20日<土>) <富永理事>
次のとおり講演を行った。
演題 増加する肥満糖尿病患者の治療
講師 独立行政法人国立病院機構
大阪医療センター
糖尿病内科 科長 瀧 秀樹
出席者数 14名
共 催 株式会社三和化学研究所
情報提供 高尿酸血症治療剤「ウリア
デック錠」
(詳細 略)
8. 勤務医部会第8～11ブロック合同懇談会について
(3月1日<火>) <富永理事>
次第は次のとおり。
▷開会
▷挨拶
▷報告
(1) (府医) 平成27年度大阪府医師会役員と勤務医部会役員との懇談会
(2) (日医) 平成27年度全国医師会勤務医部会連絡協議会
(3) (府医) 平成27年度在阪5大学医師会役員ならびに2行政医師会役員と勤務医部会役員との懇談会
▷講演
テーマ「医療事項調査制度について」
(1) 「大阪市大病院における医療事故調査制度の取り組み」
大阪市立大学医学部附属病院 医療安全管理部・感染制御部 保健主幹 中村 和徳
(2) 「南大阪病院における医療事項調査制度の取り組みと今後の課題」
社会医療法人景岳会 南大阪病院 副院長・医療安全管理室 室長 中谷 守一
(3) 意見交換
▷閉会
(詳細 略)
9. 在宅連携合同会議について
(3月9日<水>) <久保田理事>
次第は次のとおり。
▷在宅医療と介護の連携基盤構築支援事業(メディケアカード)の進捗状況・内容について
▷今後の進め方について
▷その他
(詳細 略)
10. 在宅医療推進コーディネータ情報交換会について
(3月13日<日>) <久保田理事>

次第は次のとおり。

- ▷開会挨拶
- ▷平成 28 年度からの在宅医療推進事業について
- ▷話題提供（介護制度関係の今後の方向、包括的支援事業等の現況）
- ▷在宅関係の診療報酬改定
- ▷介護保険法改正後の影響と問題点
- ▷情報・意見交換会
- ▷閉会

（詳細 略）

11. 大阪府産業保健活動推進協議会について
（3月3日〈木〉） <岡藤理事>

次第は次のとおり。

- ▷開会挨拶
- ▷講演「産業医制度のあり方について～最近の労働衛生関係法規改正を踏まえて～」
座長 大阪府医師会産業医部会副会長 益田 元子
講師 大阪府医師会産業医部会副会長 圓藤 吟史
- ▷シンポジウム「ストレスチェック制度のあり方・面接指導について」
座長 大阪府医師会産業医部会副会長 圓藤 吟史

- (1) 産業保健活動総合支援事業について
- (2) 小規模事業所での今後の対応について
- (3) 精神科専門医の立場から
- (4) 意見交換
- ▷閉会

（詳細 略）

12. 本会改定点数説明会について
（3月24日〈木〉） <岡藤理事>
標記説明会を行った。出席者は次のとおり。
会員 13 名 医療従事者 33 名 計 46 名
（詳細 略）

13. 浪速区三師会について
（3月12日〈土〉） <中村理事>
今回は、本会が幹事となって天王殿（午

後 6 時～）開催した。

出席者は次のとおり。

本会 10 名 歯科医師会 5 名 薬剤師会 5 名
計 20 名

（詳細 略）

14. 医療問題研究委員会について
（3月9日〈水〉） <中村理事>
次のテーマで意見交換を行った
テーマ「医師会活動の問題点と活性化について」

（詳細 略）

15. 病診連携委員会について
（2月29日〈月〉） <入野理事>
次第は次のとおり。
▷第 71 回病診連携委員会報告について
▷地域医療や所属地区における在宅医療ネットワークの現状や今後の課題
▷本会の在宅医療連携の現状について
▷その他

（詳細 略）

16. その他
なし。

次回理事会
平成 28 年 4 月 22 日〈金〉 午後 8 時～



5月度学術講演会のお知らせ

5月の浪速区医師会講演会はおやすみです。
次回、多数の先生方の参加をお待ちいたします。

本勉強会は、大阪府医師会生涯研修システムの対象となっておりますので、生涯教育チケットの持参をお願いいたします。



浪速区医師会 活動の伝言板

平成28年5月の各業務の出務予定は次のとおりです。ご協力のほどよろしく願いいたします。

3歳児健康診査

●保健福祉センター

5月26日(木)午後1時40分～3時30分

小児科 有田 繁広・川田信哉

眼科 吉野 成泰

耳鼻科 大野 聡史

BCG接種

●保健福祉センター

5月19日(木) 午後2時～3時30分



▶▶ 保証料不要でお得!! ご融資を通じて医師会員の先生方をサポートいたします。◀◀

自動車の購入資金に

オートローン

H28.4.1～ 金利を年0.15%引き下げ致しました!

○医院専従者・医療法人理事の方もご利用可能です。

〔限度額〕

〔借入期間〕7年以内

○限度額の範囲内であれば、2台目以降もご利用可能です。

○500万円以下のお申込みは、保証人が原則不要です。

1,000万円 年1.65%

医療法人、医院専従者、医療法人理事者でお申込みの場合、500万円以下のお申込みでも医師の方1名の連帯保証が必要となります。

住宅ローン

セカンドハウスの購入資金にもご利用頂けます。

● 自宅購入、建築資金

＜金利については、お問い合わせ下さい＞

● 自宅建築用地の先行取得資金

〔限度額〕

〔借入期間〕

● 自宅リフォーム資金

等にご利用頂けます。

2億円 35年以内

表示金利は平成28年4月にお借入れいただく場合の適用金利であり、毎月金利の見直しを行いません。また、お申込み時点ではなく、実際にお借入れいただく日の金利が適用されます。

ローンのご相談は、本店 融資課まで **TEL 06-6762-7381** [大阪府医師信用組合](#)

工藤俊次郎・本田 秀明

急病診療所出務

●中央急病診療所

5月7日〈土〉 準夜 15:00～22:00

西平 香代・佐伯 祐司

●今里休日急病診療所

5月1日〈日〉 10:00～17:00

福永 真也・有田 繁広





あとがき

藤吉理夫

この度の九州、熊本の大震災により被災された皆様ならびにそのご家族の皆様にご心よりお見舞い申し上げます。

皆様の安全と被災地の日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

1995 年 阪神・淡路大震災

2004 年 新潟県中越前大震災

2011 年 東日本大震災

そして、今回、と約 20 年の間に 4 回も大きな地震が生じています。

毎回、地震に備えて備蓄や、室内のものが倒れないような工夫をしないといけないと思いながら過ごしてきました。阪神・淡路大震災では自分も被災者であったのに、のど元過ぎれば・・・です。

皆様も再度、個人でも仕事でも災害時に対する備えを考えましょう。

災害時の医療・介護情報について、現在進行している浪速区のメディケアカードが大いに役立つと思います。個人にとっても、関係する医療・介護者にとっても、地域にとっても役立つ三方良しのカードになることを期待しています。

平成 28 年度診療報酬改定が行われました。医療・介護提供体制の「2025 年モデル」を見据え、医療機関の機能分化や強化を促す内容となっています。地域包括診療料、認知症地域包括診療料など高点数の設定がされていますが、実際に算定できる医療機関はまだまだ少ないと思います。

今後医療を担う役割として「かかりつけ医」「自宅で受ける医療＝在宅」が更に重要になってきます。2025 年に向けて、在宅まではまだ早いといくつも疾患を持ち今後在宅移行する

事が考えられる患者さんに、早くからトータル的な診療を行ってください、「地域包括診療料」が算定できる体制を目指しなさいと言うメッセージなのでしょう。

巻頭言で金子先生が、原稿のことで冷や汗をかかれたとのことですが、実は私も後書きのことでサビさんから送られてきたメールに気づかずお電話を頂いてしまいました。今どつと冷や汗をかきながらキーボードをたたいています。

原発性腋窩多汗症がボツリヌス療法の適応になっていることは不勉強で知りませんでした。30 年くらい前研修医のころ勤めていた病院で腋窩の汗腺を取り除く手術をしたことがあります。効果がどうだったのか記憶にないですが、悩んでいる方のニーズがありました。高額な治療ですが注射で症状が取れるのは患者さんにとって良いことです。そしてボツリヌス療法の注射の手技料が今回の改定で算定されたとのこと医療機関にとってもよかったですね。



目次	ページ
巻頭言	
汗についてこの頃思う事	
金子 良恵	1
理事会報告（3 月開催）	2
5 月度学術講演会のお知らせ	6
浪速区医師会活動の伝言板	6
あとがき	8

【区医だより】

発行者 佐久間靖博
編集者 山田郁子 中村泰久
印刷所 株式会社 サビ